

参考文献

- ・高齢者施設と感染対策 院内感染対策テキスト 第4版 (編)日本感染症学会 へるす出版
- ・在宅ケアにおける感染対策 監訳 小林寛伊 へるす出版
- ・Muto CA, et al. SHEA guideline for preventing nosocomial transmission of methicillin-resistant strains of Staphylococcus aureus and Enterococcus. Infect Control Hosp Epidemiol 2003;24:362-386
- ・Smith PW, Rusnak,PG. Infection prevention and control in the long-term-care facility. Infect Control Hosp Epidemiol 1997;18:831-849
- ・エビデンスに基づいた感染制御第3集 - 展開編。小林寛伊ほか編集。メヂカルフレンド社、東京、2003
- ・エビデンスに基づいた感染制御。小林寛伊他編。メヂカルフレンド社。2002
- ・Gooch B, et al. Lack of evidence for patient-to-patient transmission of HIV in a dental practice. J Am Dent Assoc 1993; 124: 38-44
- ・Crawford JJ, et al. Control of cross-infection risks in the operating room: prevention of water retraction by bur cooling spray systems. J Am Dent Assoc 2003;134:1668-71
- ・池田正一編：HIV/AIDS歯科診療における院内感染予防の実際(改訂版)：厚生労働省エイズ対策研究事業。2003
- ・佐藤田鶴子監修：最新 歯科医療における院内感染対策 CDCガイドライン：永末書店。2004
- ・ICHG研究会編：滅菌・消毒・洗浄ハンドブック、P.70、P80、メディカルチャー、1999
- ・白石 正ほか：一次消毒の廃止と内視鏡消毒薬の変更に伴う経済効果。医療薬学30(3),198-202,2004.
- ・日本病院薬剤師会編集 Q102 イソジン液を使用したのち、直ちにハイポアルコールを用いてもよいか？
- ・消毒薬の使用指針第3版, p248 薬事日報社 MMWR,2002年8月9日号：Vol.51/No.RR-10, 2002年8月16日号：Vol.51/No.32]
- ・宮本顕二 酸素加湿は常識？それとも非常識？ 岩見沢市立総合病院医誌28, 1-6, 2002
- ・松本恵里 酸素は4L以下だと加湿不要、と聞きましたが、その根拠は何でしょうか。 Expert Nurse 19(6)5月臨時増刊号, 26, 2003
- ・CDC. Recommendations for Preventing Transmission of Infections in Chronic Hemodialysis Patients. MMWR 50 (RR-5): 1-43, 2001; 日本語訳: 矢野邦夫 訳. 慢性血液透析感染予防のための CDC ガイドライン. メディカ出版, 2001; 1-104
- ・標準予防策実践マニュアル ICHG研究会編 南江堂 2005
- ・感染対策に必ず役立つエビデンス集 矢野邦夫編 MCメディカ 2005
- ・病院感染対策ガイドライン(第2版) 国立大学医学部附属病院感染対策協議会 2003
- ・小林寛伊監修 河手良一 手術後の呼吸管理で大切なことって何? 病院感染対策Q&A, 55-57, 照林社, 2005
- ・感染管理QUESTION BOX 3.感染防止と看護ケア 広瀬千也子監修 室井洋子 22.気管内吸引の清潔操作,吸引チューブの管理はどのようにしたらよいですか? 52-53,中山書店, 2005
- ・EBMにもとづく手術部・サプライ実践ガイド 医療現場における滅菌保証のガイドライン2000 大久保 憲 編 ISBN4-8404-0227-2, 2001年07月発行
- ・オペナーシング2002年秋季増刊 EBMに基づく手術部の感染防止Q&A 大久保 憲 編 ISBN4-8404-0499-2, 2002年09月発行
- ・大久保 憲 編 ISBN4-8404-0975-7, 2004年11月発行
- ・国立病院大阪医療センター感染対策委員会編:EBMに基づく院内感染予防対策Q&A、南江堂、2003,p.131-132
- ・大久保憲、小林寛伊(訳)：手術部位感防止ガイドライン、1999. 日本手術医学会雑誌 1999;20(3):297-326.
- ・インфекションコントロール2004年増刊 EBMに基づいて速効解決 洗浄・消毒・滅菌のポイント 209
- ・Weightman NC, Banfield KR: Protective over-shoes are unnecessary in day surgery unit. J Hosp. Infect. 1994; 28:1-3.
- ・大谷勝実、高橋智子、須藤正英、村山尚子：病原因子の検査結果からみた病原大腸菌検出状況.山形県衛生研究所報33:51-55,2000
- ・日本感染症学会・日本化学療法学会編：抗菌薬使用のガイドライン。協和企画。東京。2005

- ・米国疾病管理センター（CDC）予防接種諮問委員会（ACIP）勧告2005年版「インフルエンザの予防と対策」（日本公衆衛生協会発行）
- ・大滝倫子、他：疥癬はこわくない。医学書院
- ・ <http://www.jpeds.or.jp/saisin-j.html>
- ・ <http://www.kansensho.or.jp/>
- ・ <http://www.cdc.gov/mmwr/PDF/RR/RR5110.pdf>
- ・ <http://www.cdc.gov/mmwr/PDF/wk/mm5132.pdf>
- ・ <http://www.sherwood.co.jp/kansen/kansen.htm>
- ・ http://www.cdc.gov/ncidod/dhqp/pdf/guidelines/CDCpneumo_guidelines.pdf
- ・ <http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=4791>